

# 北海道 地域づくりフォーラム



【日時】 10月15日(土) 13時開場 13時30分開始  
【会場】 TKP札幌カンファレンスセンター「きょうさいサロン」  
〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西1丁目 共済ビル7F・8F

参加費	フォーラム	2,000円
	懇親会費	3,000円



13:30～13:40 開会セレモニー  
13:40～14:20 基調講演「暮らしの原点を問い直す」 哲学者：内山節氏  
14:25～16:00 第1部 パネルディカッション

## 「地域に貢献する経営者の企業哲学と人生観」

### パネラー

松場登美氏 島根県大田市 石見銀山生活文化研究所  
東谷望史氏 高知県馬路村 馬路村農業協同組合組合長  
小林史磨氏 長野県伊那市 グリーンファーム会長

### コーディネーター

菅原歓一 『かがり火』発行人



16:00～16:10 休憩  
16:10～17:30 第2部 パネルディカッション

## 「北海道の新しい価値創造のヒント」

### パネラー

尾田栄章氏 東京 NPO法人渋谷川ルネッサンス代表  
奈須憲一郎氏 北海道下川町 NPO法人「森の生活」代表  
相馬行胤氏 北海道大樹町 柏台牧場代表  
谷尾恵氏 北海道美瑛町 ペンション「POKROK」オーナー

### コーディネーター

小林国之 北海道大学大学院農学研究院助教

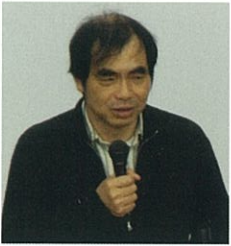


17:30～17:40 閉会ごあいさつ 大黒宏 ノースプレインファーム社長  
18:00～20:00 懇親会(会場未定)

主催：北海道地域づくりフォーラム実行委員会

協力：北大農学研究院／オホーツク寒気団／知恵熱人／北の星座共和国／NPO法人しりべつリバーネット／  
270万石空知結ばん会／ノースプレインファーム／かがり火発行委員会





## 内山 節 (うちやまたかし)

[講演者プロフィール]

1950年生まれ。哲学者。立教大学大学院教授。

近著に『共同体の基礎理論』『怯えの時代』『日本人はなぜキツネにだまされなくなったのか』など。



第一部 パネラー

### ◆ 松場 登美 (まつばとみ) 島根県大田市 石見銀山生活文化研究所

三重県芸濃町生まれ。1981年に夫の故郷である大森町(石見銀山)に帰郷。夫の実家の呉服屋の片隅で、小物の製造販売を開始。その後、古民家を改修した店舗をオープンさせ、生活文化交流の場として活用。1994年には服飾ブランド「群言堂」を立ち上げる。国交省地域アドバイザー、観光カリスマなど、今最も注目される地域づくりのキーパーソンの一人。

### ◆ 東谷 望史 (とうたにもちふみ) 高知県馬路村 馬路村農業協同組合長

1952年高知県馬路村生まれ。農家の高齢化で手間のかかけられない形の悪いゆずを、加工することで商品化。全国のデパートなどの催事や地場産品イベントで注目され、現在は35億円を売り上げる。人口1044人の村の産業としては奇跡的な成功といわれている。

### ◆ 小林 史磨 (こばやしふみまる) 長野県伊那市 グリーンファーム会長

1942年生まれ。「日本でいちばん元気のある直売所」と評判の農産物直売所の代表。農産物や商品を納入する会員は1700人。「売れたものが商品になる」という考えのもと、「人間的会話」を重視した直売所を経営。年商約10億円。



第二部 パネラー

### ◆ 尾田 栄章 (おだひであき) 「NPO 渋谷川ルネッサンス」代表

1941年生まれ、奈良県出身。1998年、建設省を退職。在職時は河川局長として、「河川環境の整備と保全」を目的に計画から「関係住民」の参加を求める等の河川法改正を主導する。現在は、夏の間は北海道紋別市で過ごし、オホーツクのさまざまな地域づくりの活動のアドバイザーとして活躍。

### ◆ 奈須 憲一郎 (なすけんいちろう) 北海道下川町 NPO法人「森の生活」代表

名古屋市出身。北大農学部森林科学科を経て、同大学院農学研究科修士課程卒。1999年4月に下川町役場勤務、その後2005年11月にNPO法人「森の生活」を設立。森にかかわる持続可能なライフスタイルを広げるため、森の体験、製造販売、宿泊事業を展開。2011年4月から同町町議。

### ◆ 相馬 行胤 (そうまみちたね) 北海道大樹町 柏台牧場代表

大樹町在住。先代の父和胤(かずたね)さんがアメリカでの修業を経て1964年に開拓した柏台牧場のオーナー。500haの広大な牧場で生産、繁殖から肥育、商品化までの「安全・安心な牛肉」の一貫生産を目指す。福島県相馬市一帯を治めていた旧相馬藩主の子孫で第34代当主。

### ◆ 谷尾 恵 (たにおめぐみ) 北海道美瑛町 ペンション「POKROK」オーナー

埼玉県出身。高校卒業後、6年間本田技研勤務。その後、美瑛の丘を旅した際に出合った民宿にて住み込みスタッフとして一夏を過ごす。その時知り合ったご主人と結婚、2年後にペンションPOKROK(ポックロック)を開業。美瑛駅そばにカフェCHABANAも開き、3人の子を育てながら、宿とカフェを営んでいる。

【お申し込みお問い合わせ】

参加申し込み締切 9月30日

北海道地域づくりフォーラム実行委員会(北海道大学農学研究院・札幌サテライト内)

mail s-s-inq@agr.hokudai.ac.jp TEL 011-706-2405 FAX011-706-4129

〒060-8589 北海道札幌市北区北9条西9丁目 北海道大学農学部

## 北海道地域づくりフォーラム実施要領・申込書

日 時：10月15日（土） 13時開場 13時30分開始

会 場：ガーデンシティ札幌きょうさいサロン

（旧 TKP 札幌カンファレンスセンター「きょうさいサロン」）

〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西1丁目 共済ビル7階・8階

電話 011-252-3165 <http://kyosaisalon.net/>

### 【札幌駅より】

地下鉄東豊線さっぽろ駅21番出口より徒歩1分

JR 札幌駅南口より徒歩5分

### 【飛行機】

JR 新千歳空港駅から

新千歳空港～札幌駅間は「快速エアポート」が運行。15分間隔 所要時間36分（最速）

フォーラム概要（裏をご覧ください）

参加費：フォーラム参加費 2000円 懇親会費 3000円

主 催：北海道地域づくりフォーラム実行委員会

協 力：北大農学研究院・一般社団法人オホーツクテロワール・オホーツク寒気団・知恵熱人

・北の星座共和国・NPO 法人しりべつリバーネット・270万石空知結ばん会

・かがり火発行委員会

申込み期限：2011年9月30日（金）

■ 申込方法 ファックスでお申し込みの方は、下記申込書をプリントアウトし、必要事項をご記入の上、FAX011-706-4129へお送りください。メールでお申し込みの方は、申込書に必要事項をご記入のうえ、[s-s-inq@agr.hokudai.ac.jp](mailto:s-s-inq@agr.hokudai.ac.jp)へお送りください。

※ 下記の H.P.からも申込みを受付いたします。（チラシ、申込書も入手できます）

<http://fs-hokudai.main.jp/?p=1243>

北海道地域づくりフォーラムの申込書			
フリガナ お名前		職業 (所属団体)	
ご住所		電話番号 (FAX 番号)	
メールアドレス			* 懇親会（○印をおつけください） 参加・不参加・未定

\*参加費および懇親会費は、当日会場受付にてお支払いください。

なお、個人情報につきましては本フォーラムの事務局以外の目的では使用いたしません。

■お問い合わせ・お申し込み先 北海道地域づくりフォーラム実行委員会事務局

北海道大学大学院農学研究院札幌サテライト内（担当 小林・松本）

電話 011-706-2405、FAX 011-706-4129、メール [s-s-inq@agr.hokudai.ac.jp](mailto:s-s-inq@agr.hokudai.ac.jp)